



因伯子供学園へのご寄付に感謝申し上げます。
2019年9月から2020年3月末までに、ご寄付いただいた方々は下記の通りです。
心より感謝し、ご報告申し上げます。敬省略

寄付者

齋藤 正七郎	吉祥院	池本 道江	ヤッホーキッズ
NPO法人 タイガーマスク基金	福井 聡志	古田 真吾	モウモウEITセンター
鈴木 有司	山下 誠	成徳地区更生保護女性会	倉吉信用金庫
鳥取中央農協	日本鏡餅組合	ガイナレー鳥取	妙寂寺
土路生 建治	徳田 恵理子	今井 隼人	山陰中央新報社
有限会社 本田商店	めがね工房 ジョイルック	河本 充弘	倉吉キリンの会
カトリック倉吉協会	門脇 朋美	岡崎 正治	吉田 祐子
伊藤 広徳	前田 修志	鳥取県警	鳥取県労働者福祉協議会
ガイア	相見 楓子	ソロプチミスト倉吉	(株)ジェイ・ストーム
満正寺	エスプリ	無名氏	

- 令和元年度の園内研修
- 5月 金融教室(鳥取県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 村田弘子氏)
 - 6月 アンガーマネジメントについて(因伯子供学園園長 吉田裕治氏)
 - 7月 事例検討「楓ホーム」(助言者…元倉吉児童相談所所長 星見元史氏)
 - 8月 メンタルヘルスケア(産業カウンセラー 手島由美子氏)
 - 9月 福祉サービスマネジメント(特定非営利活動法人 あいおらいと)
 - 10月 事例検討「本館ホーム」(助言者…心理士 磯谷弘子氏)
 - 11月 「施設養育における平等と公平」(児童福祉コンサルタント ショーン 西井啓二氏)
 - 12月 事例検討「梧ホーム」(助言者…元倉吉児童相談所所長 星見元史氏)
 - 2月 事例検討「樺ホーム」(助言者…心理士 磯谷弘子氏)
 - 3月 第三者評価について(特定非営利活動法人 あいおらいと)

★因伯子供学園からのお知らせ2★

○地域小規模グループホームについて
令和2年度4月より、地域小規模グループホーム「桜(さくら)ホーム」を成徳地区にて開設しています。
○本館ホームの名称変更します
本館ホームの名称が「桜(ひいらぎ)ホーム」となります。この2点についても、次号の「2020年度春夏号」で詳細をお伝えできると思います。お楽しみに！

★地域の皆様へ★

みどり町のみなさん、日頃から、お世話になっております。令和元年度もお世話になりました。令和2年度もよろしくお願ひいたします。そして、右記の通り、令和2年度4月より、成徳地区に地域小規模グループホーム「桜(さくら)ホーム」がスタートしました。成徳地区のみなさん、なにとぞよろしくお願ひ致します。

★因伯子供学園からお願い★

毎年、学園を卒業して、社会に出ていく子どもたちがおります。保護者の支援は得られず、自力で生計を立てていく子どもがほとんどです。一定の支援費は出るのですが、電化製品を購入して揃えるまでには至りません。電化製品で使われなくなったもの(冷蔵庫・レンジ・テレビ・洗濯機など)不要になられたものがございましたら、ご寄附いただければとても助かります。もしございましたら、伺いますので、下記まで連絡お願い致します。
0858・22・2639

編集後記 これまで「因伯だより」について様々な意見や感想を頂き、今回はこれまでの編集とは少し異なり、学園の様子・出来事等に、より透明性を持たせて、地域のみなさん・関係機関のみなさんに可能な限りそのままの因伯をお伝えできればと思い、作成・編集しました。「へ～、因伯さん、最近そんな感じなんだ～、学園の生活はそんな感じなんだ～」とサラッと感じてもらえれば幸いです。作り手冥利に尽きます。今後とも因伯子供学園も「因伯だより」もよろしくお願ひいたします。広報編集委員 林原年彦

いんばくだより
因伯だより

2019年度 秋冬号

児童養護施設 因伯子供学園
〒682-0854 鳥取県倉吉市 みどり町3249
TEL 0858-22-2639 FAX 0858-47-0234
ホームページ <http://www.inpakukodomo.jp/>

みなさん、いかがお過ごしでしょうか？今年、オリンピックイヤーという希望に満ちあふれた年となるイメージがありました。数か月前より新型コロナウイルスのニュースで持ちきりです。最近となりましては、鳥取県・鳥根県にも感染者が確認されました。政府の緊急事態宣言も出されました。一日も早い世界のコロナウイルスの終息と、延期された東京オリンピックの開催を含め、明るいニュースが待ち遠しいですね。コロナに振り回されている年度始めですが、「因伯だより2019年度秋冬号」をお送りします。令和元年度を少し振り返ってみてください。齋江副園長が令和元年度をもって退職いたしました。

梅の花が満開になると、いよいよ春が来るなと思います。寒い冬が終わりに近づくと何となく心が浮き立つものです。それなのに今年には新型コロナウイルスの流行でなかなか晴れやかな気持ちにはなれません。それは、そろそろ私の因伯での生活に終止符を打つ時が近くなったせいもあるのでしょうか。こんな時にも思わぬ思いが湧いてきます。私の人生なのだと思うことにします。八雲数枝という女傑により始まった因伯の歴史はまだこれからも続いていくと思います。受け入れる子ども達の状況はどんどん変化していくことなのでしょう。いまよりもっと難しい子ども達も入ってくるかもしれません。しかし、どんな時でも子ども達にとって居心地のよい施設であって欲しいと願っています。みどり町の片隅に引っ越してきて43年。子ども達や職員は住民の方々のあたたかい思いに支えられ、守られています。自分達だけが頑張っているのではな

新たなスタートに向けて 副園長 齋江富子

い、皆が支え合っているのだと思います。一人だけの力では何もできませんが、お互いが思いやりながら支え合えば必ず良い方向に向かえると信じています。誰もが手を焼き周りに迷惑ばかりかけている子どもであっても、大人が必ず良くなることを信じて疑わなければきっと気持ちが変わり分かってくれる日がくるのではないのでしょうか。因伯自慢のチーム力で乗り越えて行って欲しいと思います。八雲数枝、藤岡桔平らの篤志家によってはじめられ、地域に根付き見守られ、そして職員のサポートで子どもが育っていく。時々「これでもいいのか」と振りかえることを忘れず信念を持って進んで行って欲しいと思います。今は苦しくても我慢すること。決して投げやりにはならないこと。自分のペースで焦らず進んでいってください。そして、施設だからこそできる養育に力を注いでください。長い間、本当にありがとうございます。

★因伯子供学園から昨年度(令和元年度)のお知らせ★

○お祝いについて

- 4月5日 入学祝い
9名の子ども達が進学、みんなでお祝いしました。
- 11月16日 創立記念祭(113周年)
因伯創設113年をみんなでお祝いしました。
- 3月7日 卒業祝い
卒園生(3名)・卒業生(5名)のお祝いをしました。今年度は3名の卒園生が社会人となりました。

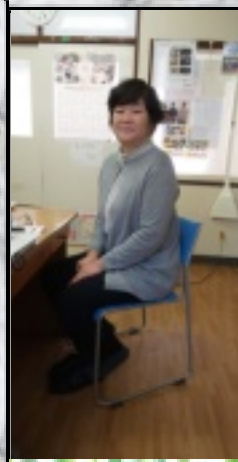
○グラウンドの芝について
石亀理事長がご自宅で栽培された芝を一昨年度と昨年度の2回に分け植付け作業しました。少しずつ根付いてきています。しばらくすればグラウンド一帯が芝一色になると思います。*写真は冬季に撮ったもので青々しさがありませんが、暖かくなると青々しくなり芝生らしさが出てきます。

○駐車場にラインを引きました
以前より、駐車場に線を引いて欲しいという要望があり、今年度、石亀理事長をはじめ数人で業者に頼らず、自力で作業しました。

グラウンドの芝

サッカー少年が「学園で芝生でサッカーできるか？」と喜んでます。生えてくるのが楽しみだね！

駐車場のライン



令和元年度の学園行事・参加行事紹介します！



1 ちまき作り

6月8日にちまき作りを開催しました。雨天のため食堂の中での実施。学園以外にも地域・民生委員・里親会のみなさんも参加され、大いに盛り上がりました。長年の行事ということもあり、手際よくあっという間にちまき完成！参加されるみなさんが達人レベルです。ありがとうございました。



2 海水浴

8月6日に宇野海水浴場に海水浴に行きました。普段行事に参加しない高校生たちも、この行事には喜んで参加します(笑)学園の行事の中でも子どもの大好きな行事の一つです。今年も怪我無く無事に終了しました。また来年も晴れてほしいものです！



3 そうめん流し

8月11日にそうめん流しを開催しました。地域の方にも参加していただき、今年も実施することが出来ました。じゃんけんゲームもあり、子どもたちも楽しめた様子でした。毎年天候に左右される行事ではありませんが、夏の風物詩、毎年楽しみたいものです。



4 学園遠足

8月31日に学園遠足で姫路セントラルパークに行きました。久しぶりの学園のみな一緒の遠足でした。動物やアトラクション！みんな仲良く楽しんだ。動物やアトラクション！みんな仲良く楽しんだ。



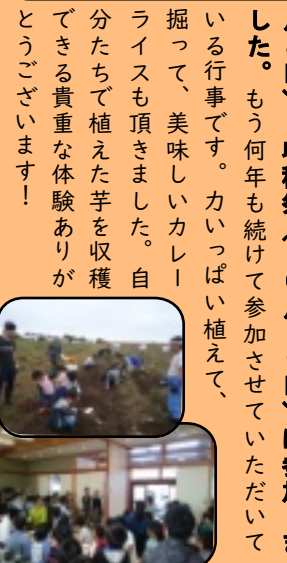
7 もちつき

12月22日にもちつき大会を開催しました。今年も富士警備保障株式会社のみなさんとのもちつき大会が開催されました。最後はブレゼントももらい良い事づくめでした。富士警備保障株式会社のみなさん毎年ありがとうございます。



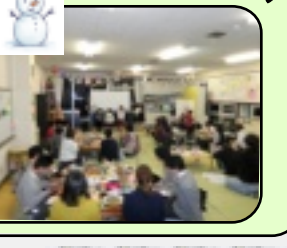
5 土に親しむ会

中部里親会主催「土に親しむ会」(6月8日)・収穫祭(10月19日)に参加しました。もう何年も続けて参加させていたでいる行事です。カッパいっぴい植えて、掘って、美味しいカレーライスも頂きました。自分たちで植えた芋を収穫できる貴重な体験ありがとうございました。



8 クリスマス会

12月25日にクリスマス会を開催しました。毎年恒例、その年最後の行事、ごちそうにビンゴに出し物に音楽、楽しいひと時でした。



6 土避難訓練・芋煮会

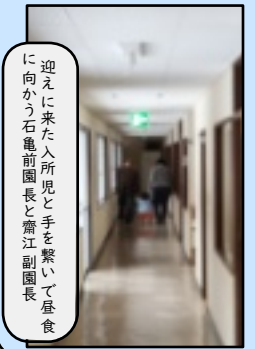
11月9日、避難訓練・芋煮会を実施しました。避難・消火訓練、非常食のレクチャー、芋煮会という毎年の流れで行われました。芋煮も美味しかったです。日本の大きな災害や中部震災の教訓を大切に感じ一日です。



里親支援専門相談員 林原年彦 因伯子 震で被災も経験しました。駐車場でテントを張って避難し、夜は全員がすばやく避難できる一階で一晩を明かしました。余震も頻発であったため揺れて出入り口が閉ざされぬよう、全ての扉は開いたまま、電気はつけたままという異様な雰囲気を感じました。職員関係・職員配置においても、相当苦慮されており、お互い相談されていたことも毎年よく聞いておりました。そして、私達職員が、安心して伸び伸びと日々子ども達のために仕事に携わることが、長く勤務し続けたいと思えて、それが出来ているのは、石亀前園長・齋江副園長が、因伯の柱として子ども達に環境を整えて下さったからに他ならないと思います。当学園職員として言うのもなんですが、因伯は「チームワークが良い」と言われる所以は、この土壌にあるのだと思えます。関係機関の方から「因伯さんの雰囲気いいですね、好きですよ」という言葉も何度か頂いており、親しみを感ずってもらえているということも、とても有り難い事、不思議な魅力だと感じております。この雰囲気は、石亀前園長・齋江副園長が築き上げられてきた「因伯カラー」だと思っております。

明治期における創立者の大きな取り組みから113年、その約41年間学園に従事・支えてこられました。職員一人一人として多くの指導を受け、多くの道標をいただきました。創立者をはじめ先人の方々の多くの苦勞と共に学園があること、襟を常に正し、省みる気持ちを忘れず、子どもの未来を思い、日々の仕事に励んでいきたいと思えます。石亀前園長・齋江副園長 本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

2016年10月には、震度6弱の地震で被災も経験しました。駐車場でテントを張って避難し、夜は全員がすばやく避難できる一階で一晩を明かしました。余震も頻発であったため揺れて出入り口が閉ざされぬよう、全ての扉は開いたまま、電気はつけたままという異様な雰囲気を感じました。職員関係・職員配置においても、相当苦慮されており、お互い相談されていたことも毎年よく聞いておりました。そして、私達職員が、安心して伸び伸びと日々子ども達のために仕事に携わることが、長く勤務し続けたいと思えて、それが出来ているのは、石亀前園長・齋江副園長が、因伯の柱として子ども達に環境を整えて下さったからに他ならないと思います。当学園職員として言うのもなんですが、因伯は「チームワークが良い」と言われる所以は、この土壌にあるのだと思えます。関係機関の方から「因伯さんの雰囲気いいですね、好きですよ」という言葉も何度か頂いており、親しみを感ずってもらえているということも、とても有り難い事、不思議な魅力だと感じております。この雰囲気は、石亀前園長・齋江副園長が築き上げられてきた「因伯カラー」だと思っております。



迎えに来た入所児と手を繋いで昼食に向かう石亀前園長と齋江副園長

☆学園での思い出☆

令和元年度は学園を卒業していった子どもが3名いました。卒業していく3名に学園での思い出など振り返ってもらいました。学園での生活がどのような生活であったのか、それぞれ紹介したいと思います。

Aくんは、学園で中学3年生から高校生3年生まで過ごしました。来年度からは就職して社会人となり清掃の仕事をしています。

○趣味は、写真を撮ること、写真を撮りながらの散歩、自分の部屋の掃除、服のコーディネート

○職員さんからは、調理や掃除をよく手伝ってくれ、助かったそうです！

Bさんは、小学生低学年の頃から高校3年生まで学園で生活しました。来年度からは鳥取市で食品製造の仕事に頑張ります。

○趣味は、ジャニーズ・テレビ鑑賞

○職員さんからは、穏やかなところ、素直なところ、集団行動がとれるところ、思い込んだらトコトン頑張れるところが素敵なポイントだそうです。

今まで約10年ぐらい学園で生活していろいろなことかしんどいことかたくさんあったけど、楽しいことが多かったです。(自分の好きなアーティストの)ライブに行きたくて、学園にいっぱい迷惑をかけたこともありましたが、いい思い出になりました。本当にありがとうございました。

Cさんは、小学生の高学年の頃から高校3年生まで学園で生活しました。来年度からはBさんと同じく、鳥取市で製菓業の仕事に頑張ります。

○趣味は、韓流スター・テレビ鑑賞

○職員さんからは、おしゃべりなところ、明るいところ、真面目なところ、社会性があって、大人とコミュニケーションがとれるところが素敵なポイントだそうです。

僕が学園で生活して、一番に残っていることは、男子棟の遠足で、ホテルに一泊したこと、大阪に行って吉本新喜劇を観たことです。始めはのり気ではなかったけど、観ていたら思ってたよりも面白かったです。また男子棟の遠足に参加したいです。

そして、すごして嬉しかったことが、5つあります。一つは、ご飯をたくさん食べたこと、2つ目は、皆で仲良くすごせたこと、3つ目は、趣味ができたこと、4つ目は、料理ができるようになったこと、5つ目は、規則正しい生活が身についたことです。社会人になってからは仕事とあいさつに頑張りたいです。

長い間お世話になって、嫌な事もいっぱいあったけど、それと同じくらい楽しいこと、いいこといっぱいありました。(学園)遠足では行きたいところに行かせてもらったこともあったし、ご飯もおいしかったです。高校生からは一人部屋にしてみました。(今後新しく住む所の)家具とかもそろえてもらってすごいです。ありがとうございました。すごいです。ストレスを感じるときもあったけど、学園には感謝しています。

☆令和元年度の学園行事は予定されていた全ての行事が無事終了しました。地域の皆様、関係機関の皆様、ご協力ありがとうございました！☆